

◆ 第 57 回地盤工学研究発表会へ出展

2022年7月20日(水)～22日(金)に新潟県新潟市の朱鷺メッセで開催された『第57回地盤工学研究発表会』においてスクリー・プレス工法の技術を紹介いたしました。公式 WEB サイトにおいて出展者情報、紹介技術など、詳細を閲覧することができます。是非ご覧ください。



◆ 第 10 回役員会 開催

9月16日、長野県にて役員会を行いました。昨今、コロナ禍の影響によりオンラインでの役員会が続いておりましたが、今回の役員会は約2年ぶりに顔を合わせての開催となりました。会議室で役員会の議論を行い、懇親会は屋外で行いました。長野県の自然の豊かさを肌で感じることができ、会話も盛り上がりました。



◆ コンステックテクノフェア 2022 開催

2022年11月1日(火)～2日(水)東京流通センターにて「コンステックグループテクノフェア 2022」が開催されました。今回はリアル会場とオンライン会場を同時融合させたハイブリッドテクノフェアとなりました。お陰様で、リアル会場は700名を超える来場をいただき、オンラインログイン数は約2,000回でした。コンステックグループの技術をご紹介させていただきました。ありがとうございました。

◆ ノベルティ制作

今年度のノベルティは『今治製ミニタオル』を製作し、皆様へ配布致しました。次回のノベルティについてご要望などございましたら、事務局までご連絡下さい。



◆ 広告掲載中

- ・中規模木造建築ポータルサイト 広告バナー (掲載期間 2022年6月1日～2023年5月31日)
- ・積算資料 2022年10月号



会員一欄

正会員	株式会社 アイ機	株式会社 e c o・カンパニー	株式会社 柿崎工務所	株式会社 ジョック技研
地建興業 株式会社	千代田機電 株式会社	株式会社 中川商店	有限会社 平居建設	ビルダーズサポート株式会社
株式会社 福田テクノ	富士貴建装 株式会社	株式会社 ライフベース	株式会社 レクティオ	
準会員	株式会社 第一工業	株式会社 日建コンサルティング	株式会社 西尾技建	
協力会員	株式会社 シロタ	株式会社 ヒヨシ	株式会社 セーフテック	株式会社 北陸精機
賛助会員	一般社団法人 ハウスランティ	株式会社 GIR	一般社団法人 不動産検査保証機構 レイウス	
特別会員	株式会社 コンステックホールディングス	株式会社 グランテック		

スクリー・プレス工法
協会だよりVo.010
2022.12.発行発行:スクリー・プレス工法協会事務局
TEL:(0766)30-2372
FAX:(0766)30-2566
Email:spassoc.info@cons-hd.co.jp

活動報告

東北営業所 2年目を迎えて

工法協会紙 Vo.007 (2021.6 発行) で、グランテック東北営業所開設を報告させて頂きました。当時は、グループ会社(株)コンステックの事務所の一部を間借りし、たった1人でのスタートでしたが、同年8月には現在の場所(仙台市泉区)に単独の事務所を構え、営業所員も10月、11月、2022年4月にそれぞれ1名ずつ増員し、現在4名での体制が整いました。原稿を書いている今、2023年開設予定の九州営業所配属予定社員のOJT研修を、東北で実施しております。



開設からの約1年半を振り返りますと、分からないながらも、とにかく我武者羅に行動をして参りました。「どうしてこのゼネコンの社長と面談ができているのだろうか?」と当時の週報を見返してみると、生命保険会社の営業マンと同行営業をしていました。最初は飛び込みで訪問した顧客先も、最近では徐々に、問い合わせやご紹介を頂ける仲になってきました。

東北でスクリー・プレス工法を展開していくに当たり意識した事は、住宅よりも規模の大きい、中規模・大規模向けの地盤改良として紹介していきました。工場や倉庫、大型の店舗を施工している建設会社や設計している設計事務所を調べ上げ、訪問しました。営業所1人体制で、他拠点のように営業、管理、設計を一時にできないという台所事情もありましたが、構造ご担当者には工法の特徴を細かく伝え、一物件ごと丁寧に設計折込をする事により、現場を進めながらも、営業の手を止めずに活動していく事ができました。

先日、(株)グランテック40周年の会で、工法開発者の折戸清治氏とお話をする機会がありました。東北での展開も気にかけてくださっており、「急いで展開し過ぎずに、まずは品質を大事にするように。コストも、環境面も他工法と比較して優位なのだから、品質を落として、伸張の芽をつまないように。」といった内容のアドバイスを頂きました。

2年目を迎えて徐々に慣れてきたところではありますが、1年目のような営業の勢いも忘れずに、一方で品質を大切に、着実に足元を固めていく所存です。引き続き、協会員の皆様の変わらぬご支援の程、よろしくお願い致します。

(株)グランテック 東北営業所
所長 富山 徹

工事名：某米集出荷施設新築工事

工事規模：米倉庫（S造1階 準耐火構造）延床面積 5223.65m²

施工：2022年5月26日～6月29日

設計地耐力：(50kN/m²)

補強体：φ430 L=3.00m 242本、 L=3.50m 854本、 L=4.00m 156本

2022年6月に、岩手県一関市で実施した某米集出荷施設の土間下改良について、事例ご紹介致します。

当該建物は、一関市内の農業施設に併設する平置き駐車場内に建築が予定されました。冷蔵室には、米のパレットを5段積みする計画となっており、土間部分の長期接地圧は50kN/m²必要となりました。表層部は砂利で舗装されているものの、標準貫入試験の結果、腐食物を含む有機質粘土の層と、含水比の高いシルト層により、設計GL-5.0～6.0m付近まで軟弱層であり、地盤改良を検討する必要性がありました。

1. 工法選定

計画段階で、浅層混合改良工法、深層混合改良工法、スクリー・プレス工法が候補にあがり、浅層混合改良工法では、改良下部地盤に作用する接地圧が改良下部地盤の許容支持力度を上回ってしまうため、検討外となりました。深層混合改良工法とスクリー・プレス工法を比較した際、施工長及び施工コストにおいて、スクリー・プレス工法が優勢と判断され、具体的な検討に入りました。近隣のントリーエレベーターでも沈下事故が発生した経緯があり、プロポーサル段階でも土間の沈下抑制方法に対する提案が大きな鍵となると相談を受け、営業プレゼンテーション資料の作成から携わらせて頂きました。

2. 補強設計

延床面積が約5223m²と広く、事前の標準貫入試験でも層厚にバラツキが見られた為、スクリーウエイト貫入試験（SWS試験）を計43ポイント実施しました。その結果、冷蔵庫1～3を含むエリアと冷蔵庫4～5を含むエリアで施工長を変え、更に調査ポイント31～36付近で自沈層が深く存在したため、圧密沈下を軽減すべく、施工長を長く設計しました。

3. 施工完了

途中、豪雨による作業中断等もありましたが、当初予定していた27日間の工期で作業完了しました。今回の施工では、平置き駐車場にする際に用いられた岩ずりが地中内に散在しており、削孔の際に時間がかかる場面がありました。新規造成をした工業団地の盛土材などでも、削孔に時間を要することがあり、土質に応じた削孔方法や先端ビットの改良などにより削孔能力を高める事で、大型現場でも土質に左右されず、作業時間を計算しやすくなると感じました。悪天候の中、長期現場にご対応頂きました、柿崎工務所の皆様有難うございました。

4. おわりに

土間の沈下修正が各地で行われている一方、新設工事での土間沈下抑制工法のニーズは間違いなく存在します。土間荷重は10～50kN/m²と、スクリー・プレス工法の適用範囲内でもあり、浅層混合改良よりも深く施工ができ、複合地盤での設計手法はニーズにマッチした提案ができると考えます。今後も市場での認知度を高め、倉庫、工場、店舗建築の際のスタンダードな工法になっていくよう、採用実績を積み重ねていきたいと思っております。



地盤調査から改良・基礎工事までワンストップでサポート
全てはお客様の「安心・安全」のために



「北陸の地で、安心・安全な暮らしを多くの人に届けたい」
ビルダーズサポートはそんなわたしたちの想いから生まれた企業です。
北陸での家づくりを知り尽くしたわたしたちだからこそ、
その経験と叡智をもって環境にマッチしたサービスを提供いたします。



ワンストップサポート

- ◆地盤調査・微動探査
沈下リスクを調査する地盤調査（SWS試験）と、地震時の揺れやすさを測定する「微動探査」の二重の調査で、建築地盤に対する万全の備えを行います。
- ◆地盤改良工事
建築地盤の状況に合わせて、化学物質等を用いず環境負荷の少ない工法を第一にご提案します。
- ◆基礎工事
北陸の気候風土にマッチしたグリッドポスト工法をご提案。確かな品質と強度を併せ持った基礎をつくります。